

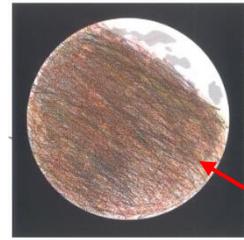
# かい き げっしょくかんさつ 皆既月食観察シート

かんさつ ひ  
観察した日: 2021年5月26日

ばしよ  
観察した場所:

なまえ  
観察した人の名前:

「みほん」



ちきゅうのかげ

いろえんぴつやクレヨンで右上の「みほん」のように地球のかげのところをぬってみましょう。



かいきのまえ  
( \_\_\_ 時 \_\_\_ 分 )  
(7じはんころ)



かいきちゅう  
( \_\_\_ 時 \_\_\_ 分 )  
(8じ20ふんころ)



かいきのあと  
( \_\_\_ 時 \_\_\_ 分 )  
(8じ 50ふんころ)

9時にはねましょう!

きがついたことをかいておきましょう。

このシートは次の月食と比較するために大事にとっておきましょう。

## げっしょく はじ お じこく 月食の始まりと終わりの時刻

月食の始まり	午後 6時44分
皆既月食の始まり	8時 9分
皆既月食の中心	8時19分
皆既月食の終わり	8時28分
月食の終わり	9時52分

とうきょうみらいだいがくてんもん  
作成: ギャラクシティ/東京未来大学天文サークル

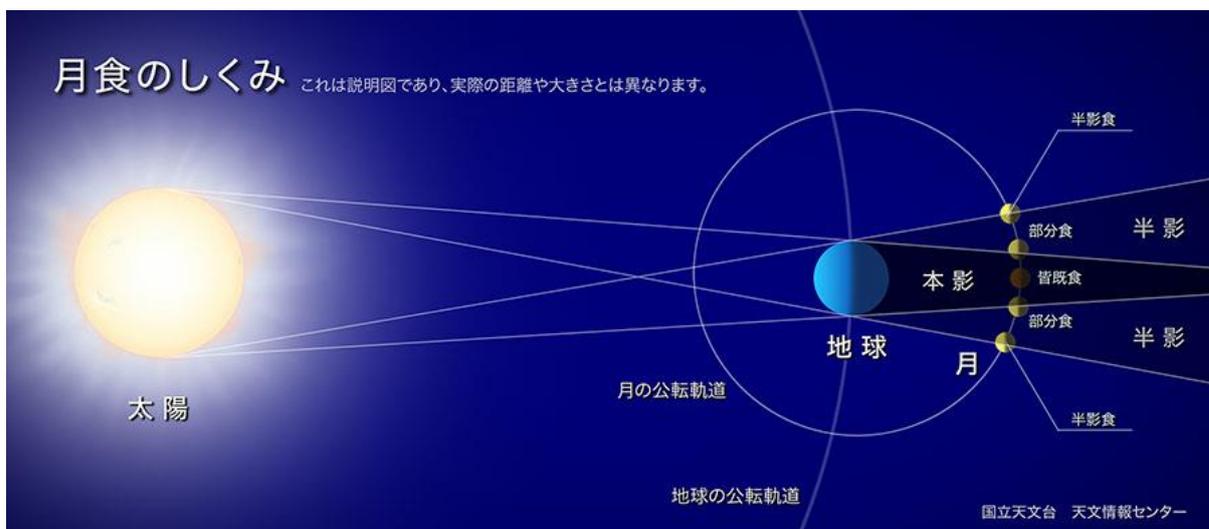
# 保護者の方へ

## 月食の概要

今回の皆既月食は、2018年7月以来3年ぶりのものです。食甚(食が一番深い時刻)が8時19分と、お子様にとっても見やすい時間帯に起こりますので、是非いっしょにご覧になってください。

## 月食の原理

月は太陽の光を反射して輝いていますが、下の図のように、太陽の光を地球が遮る影の部分に月が入ると月食となります。月がすっぽり影に入ってしまうのが皆既月食です。月食は満月の晩に起こりますが、満月の日に必ず起こるわけではありません。太陽-地球-月が一直線に並ぶのは数年に1度程度です。平均すると皆既月食は数年に1度程度の頻度で起こります。



## 観察の方法

観察シートは「月に映った地球のかげ」を記録する用紙です。色鉛筆などで欠けた様子を記録してください。欠けた部分の色も記録できるといいでしょう。皆既中は赤黒い(赤銅色とも表現されます)月の様子を肉眼でも見ることができます。皆既前、皆既の最中、皆既の後の3枚のスケッチを取れば変化を追うことができます。

観察は、肉眼でもできますが、オペラグラスや双眼鏡を使うと見やすいでしょう。天体望遠鏡で観察できると表面の模様はどこがいつ欠けたか、詳細な記録を取ることができます。次回、東京で皆既月食が見られるのは、2022年11月8日です。

皆既月食の情報は下記からも得ることができます。



The Movie 月食



まるちたいけんドームだより



国立天文台の月食情報



ギャラクシティ  
G A L A X C I T Y